



週報



大分城西ロータリークラブ

クラブスローガン「クラブを愛しましょう！ と共に 親睦と奉仕を—」

国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

会長 伊東真知子 第2720地区ガバナー

幹事 石橋 春明 三村 彰吾

大分第4Gガバナー補佐

佐藤 憲幸

地区スローガン

寛容な心で、ロータリーの未来、そして若者の未来を考えよう。



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	12月 11日				
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター
	29名	23名	79.31%	0名	2名

事務局 〒870-0021 大分市府内町トキハ会館4階 TEL 097-532-0611 FAX 097-532-8386

Eメール oitajosairc@mst.ocn.ne.jp

例会日 水曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル日航大分オアシスタ-

ホームページ <http://oitajosairc rotaryclub.com>

編集担当	12月	石橋春明
	1月	衛藤祐介
	2月	高木昭信

2024-2025

第17回例会

12月15日

◆本日のプログラム（12月15日）

17:30	点鐘	
	ロータリーソング「まわせ歯車」	
	ゲスト・ビジターの紹介 伊東真知子 会長	
	会長の時間 伊東真知子 会長	
	出席報告及び幹事報告 石橋春明 幹事	
	ロータリー情報 R情報担当委員	
	委員会報告 各 委 員 会	
	スマイルボックス 会 員 各 自	
17:45	クリスマス家族例会 司会	
	神野寛明会員	
	開会の挨拶 伊東真知子会長	
	乾杯 衛藤祐介直前会長	
	～食事・歓談～	
	ゲーム	
	かみのゲーム お子様	
	格付けゲーム 全員	
	サンタ登場	
	子供達へのプレゼント	
	ロータリーソング「手に手つないで」	
	いやさか 工藤隆 会員	
19:50	閉会	

◆ゲスト・ビジターの紹介（12月11日）

- ビジター 穂田英一郎様（大分1985RC）
- 吉良昌一様（大分1985RC）
- ゲスト ナシ

◆ロータリーの友12月号紹介 伊藤秀海会員

- P8 日本の地域医療の今（健康寿命ランキング）
- P11 部位別がん罹患率
- P12 1人平均むし歯数（12歳児）
- P37 ロータリーアットワーク（広島東RC）

◆スマイルボックス（11月13日）

大分1985RC 穂田英一郎会員 吉良昌一会員 1口

本日は当クラブ創立40周年記念式典及び祝賀会のご案内に参りました。2025年3月15日には多くの会員様のご臨席を賜れます様、お願い申し上げます。

No.1578

疾病予防と治療月間

◆今後の例会予定

- 12月18日 12月15日に例会変更
 - 12月25日 定款第7条第1節に基づき例会取りやめ
 - 1月8日 1月9日（木）に例会変更
 - 令和7年1月9日（木）新春合同例会
 - 12:00~14:05 トキハ会館5階 ローズの間
- ※当番クラブの為、10:30集合でお願い致します。
- 1月15日 全員協議会（例会ではありません）
 - 1月22日 年男の卓話
 - 1月29日 城西マーケット

- 職業奉仕3分スピーチ

本日はありません。

(1/29) 園田会員

芳崎一郎会員 10口

先週の年次総会は欠席しまして大変申し訳ありません。次年度、山本年度もクラブ運営委員長として頑張ります。当番クラブとしての残りの半年の役割の成功と次のステップに向けての準備をよろしくお願ひいたします。会員の皆様、どうぞご協力をよろしくお願ひいたします。

今回、地区委員に3名の方々が手を上げてくれました。大変嬉しく、今後も地区とクラブの成長のためにご尽力いただけたらと思います。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。3年後もよろしくお願ひします。

本日は1985RCより穂田会長、吉良前ガバナー補佐が40周年の告知でお見えです。お2人共、地区で一緒に活動させていただき尊敬する方々です。今日は、お願い並びに感謝を込めて、又、1985 R Cさんのお祝いを込めて10口スマイルいたします。

中山省悟会員 1口

先日、妻の誕生日に花をいただきました。今年の花はデザインが可愛いらしく、とても気に入っていました。いつもありがとうございます。1口スマイルします。

◆ロータリー情報（12月11日）

工藤 隆会員

12月は「疾病予防と治療」月間

疾病予防と治療

ロータリーは、疾病の原因と影響を減らすための活動を支援します。この分野のプロジェクトは、医療サービスへのアクセスの改善および拡充、医療機器の提供、または医療従事者の研修によって医療システムを強化します。

この重点分野の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような活動によって疾病を予防し、治療するのを支援します。

1. 地元の医療従事者の能力向上。
2. 伝染病の伝播を止め、非伝染病の発生とそれによる影響を減らすための、疾病予防・治療プログラムの推進。
3. 医療システムの強化。
4. 臨床治療および身体障がいのためのリハビリの提供。
5. 疾病予防と治療に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

ロータリー財団の寄付の使われ方（2022～23年度）

総支出 3億4,350万ドル（515億2千5百万円）

うちボリオプラス 1億5,700万ドル（235億5千万円）45%

グローバル補助金のうち

「疾病予防と治療」 5,500万ドル × 44% = 2,420万ドル（36億3千万円）

ボリオプラスのプラスとは

はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核を指します。

◆今週のお祝い（12月15日）

●創立記念日

佐藤憲幸会員 (株) アクティブコミュニケーションズ H14年12月20日（22年）

●結婚記念日

伊東眞知子会員 S49年12月20日

首藤哲也会員 H25年12月24日

佐藤憲幸会員 H12年1月1日

●配偶者誕生日

高木昭信会員 美智穂夫人1月11日

●会員誕生日

河野浩二会員 12月31日

原田隆雄会員 1月9日

佐藤憲幸会員 1月15日

芳崎一郎会員 1月19日

今年は特に暑い夏で特に又寒い冬のように思いますが皆さんお変わりはないでしょうか？私は最近温度の変化になかなかついていけなくなりました。つい先月の会長の時間にはいつまでも暑いですねと言っていたような気がします。皆さんも体調管理を怠りなくしてください。

さて、日本の歳時記を7月の「七夕祭」から巡ってきましたが今日は「義士祭」のことをお話させてください。右の写真は江戸城の松の大廊下で赤穂の藩主浅野長矩(ながのり)が※高家肝煎(こうけきもいり)の吉良義央(よしなか)を切りつけているところです。

「義士祭」とは申すまでもなく元禄15年(1702年)の12月14日、いわゆる「忠臣蔵」として知られる、大石内蔵助を始めとする赤穂の旧藩士四十七名が藩主の浅野内匠頭の仇である吉良上野介を討ち果たして切腹した事件に因んだお祭りです。歌舞伎や浄瑠璃などの演目にもなり、いわゆる仇討ものとして人気を博しました。

現在でも年末になるとこの事件をテーマにした作品が毎年のようにテレビなどで放映され、私たちにとりましてもなじみ深いのではないでしょうか。



地元赤穂市はもとより浅野長矩や赤穂浪士が葬られている東京高輪の泉岳寺でもまた、この他四十七士ゆかりの寺社などでも義士行列や供養を中心とした祭りが各地で行われています。

左の写真は地元赤穂市で大石内蔵助に扮した中村雅俊が歴代赤穂藩主の菩提寺である花岳寺での法要を経て、義士を御祭神として祀る赤穂大石神社から四十七士を率いてパレードする様子です。

ところで茶の湯もこの討ち入り事件に少しばかり関係があります。

千利休の孫である宗旦の高弟として知られた山田宗徳という方がおりますが、晩年に江戸の本所二ツ目に庵を結び茶の湯を教えていました。宗徳が吉良家に出入りしたことを知った義士の一人、大高源吾は宗徳に入門して吉良家の茶会の日取りを聞きつけ討ち入りの日時を決定したという話があります。

討ち入りの際、吉良邸の茶席に桂籠の花入が掛けられていたといいます。吉良上野介の首を打ち取った後、浪士たちは吉良側の略奪を恐れてこの桂籠を布に包み槍に括り付けて首のように見せ、泉岳寺の浅野内匠頭の墓前に向かったといいます。右の写真が桂籠の写しの花入れです。

利休が桂川で鮎を釣る人の魚籠(びく)を花入としたもので「桂川籠」とも言います。利休から少庵、宗旦、宗徳へと伝えられ、宗徳が上野介に送ったものと伝えられています。今に伝わる宗徳所持の桂籠には下辺に槍幅ほどの縫い傷があるそうです。



今日は義士祭の話とそれに関係した茶の湯のこぼれ話でした。

※高家肝煎とは、江戸幕府の高家職に就く旗本の中から家が武家の儀礼や服飾、法令の先例や典拠(正しいよりどころ)に精通した者を選び高家の諸氏を差配する職名

高家は江戸幕府における儀式や典礼をつかさどる役職。又、この職に就くことのできる家格の旗本を指す。肝煎とは双方の間を取り持って心を碎き世話を妬くこと、又はその人を指す。

◆クラブ協議会 『上期の反省と下期の取り組み』

SAA	芳崎 一郎	職業奉仕	二宮 浩司
クラブ運営	伊藤 秀海	社会奉仕	中山 省悟
親睦	神野 寛明	社会奉仕	河野 浩二
プログラム	吉岡 尚美	青少年	山本 真一
R情報	佐藤 俊治	環境保全	園田 哲史
公共イメージ向上	眞上 晋	国際奉仕	寺崎 直史
I T	眞上 晋	国際奉仕	武居 光雄 (寺崎委員長代読)
クラブ会報・雑誌	岩尾 隆志	R財団	工藤 隆
会員増強	岩田 和久	米山奨学会	園田 哲史

以上の各担当者より、それぞれの活動報告を発表して頂きました。

◆臨時理事会 議事録 (持ち回り理事会)

国際ロータリー第2720地区 2025-2026年度 地区委員会委員に大分城西ロータリークラブより3名推薦することを決定した。 ・原田隆雄会員（管理運営部門） ・岩田和久会員（会員増強部門） ・園田哲史会員（米山記念奨学部門）
--